

技術士 2 次試験に合格して



能登 健太

(の と けんた)

勤務先

株式会社 シビテック

防災地質部

〒003-0002 札幌市白石区東札幌 2 条 5 丁目 8 番 1 号

TEL 011-816-3001 FAX 011-816-2561

E-mail k.noto@civitec.co.jp

■ 専門：応用理学部門(地質)

1. 自己紹介

私は 1992 年に北海道の岩見沢市で生まれ、高校卒業までを岩見沢市で過ごしました。高校卒業後は北海道大学に進学し、重金属等の溶出傾向などの研究に取り組みました。

大学で学んだことを活かして土壤汚染に関わる仕事がしたいと考え、2018 年に建設コンサルタント会社へ入社しました。大学では化学を専門としていたため、社会人になってから地質を本格的に学ぶことになったのですが、かなり苦労しました。

昨年は転職、結婚、技術士合格と個人的にとっても忙しい一年になりました。

2. 技術士試験について

私は JABEE 認定の学科を修了していたため、修習技術者として技術士第一次試験が免除されていました。技術士という資格は知っていましたが、いつか自分も取得できたらいいなど漠然と思っていた程度で、そもそも自分がどの部門を受験するのが良いのかもわかっていませんでした。

技術士第二次試験を初めて受験したのは社会人 4 年目となった 2021 年でした。まだまだ先だろうと思っていた受験資格を満たす日はあつという間に来ました。当時は勉強方法もよくわからず、とりあえず受けてみましたが、当然結果は不合格でした。

2 回目は 2023 年に受験しましたが、満身に勉強できず本番に臨んだ結果、やはり不合格でした。

3 回目の受験となった 2024 年は、過去問を活用してテーマごとに答案の骨子表を作成して勉強してみました(試験本番の 2 週間前に人生初のコロナに罹患し、上司には迷惑をかけましたが、休み期間中に試験勉強がかなり捗りました)。筆記試験の出来は個人的にはあまり良くなく、今回も不合格だろうと思っていましたが、合格発表日の朝に上司から「おめでとう」と言われて合格していることが判明しま

した。それから、気持ちが乗らずにサボっていた復元論文の作成を慌ててしました。

いざ筆記試験の合格がわかると、何としても受かりたいという気持ちが強くなりました。私の口頭試験日は幸いにも 1 月中旬であったため、本番までの 2 ヶ月間でこんなにいらないだろうというくらいの数の想定問答を作成しました。想定問答を作成していく中で初めて、コンピテンシーや技術士法などについてきちんと学びました。勉強して理解が深まると、今まで見ていた先輩方の仕事ぶりはまさに技術士だったんだなと実感しました。

想定問答を作成した後は、会社の支援制度で模擬面接を 3 回ほどやってもらいました。自分だけでは気づけなかった部分が模擬面接で明確になり、回答をブラッシュアップすることができました。

口頭試験本番 2 週間前に人生 2 度目のコロナに罹患。体調管理には気をつけていたつもりでしたが甘かったです。なんとか本番までに体調を回復させて試験に臨みました。本番はほとんど想定通りのやりとりで終えられてひとまず安心しましたが、合格発表までの 2 ヶ月間はやはり不安な気持ちもありました。合格発表日の朝は緊張しましたが、自分の名前を見つけてホッとしました。

3. 今後の抱負

試験に合格し、資格を取得できたわけですが、技術的にはまだまだ未熟だと感じています。技術士と名乗って恥ずかしくないように、今後も継続研鑽を怠らずに業務に取り組んでいこうと思います。

今後は自分の専門分野はもちろん、専門外分野についても知識を身に付けていき、幅広い分野で活躍できる技術者を目指したいと思います。

最後に、私の試験対策に時間を割いてくださった皆様にこの場をお借りして感謝申し上げます。